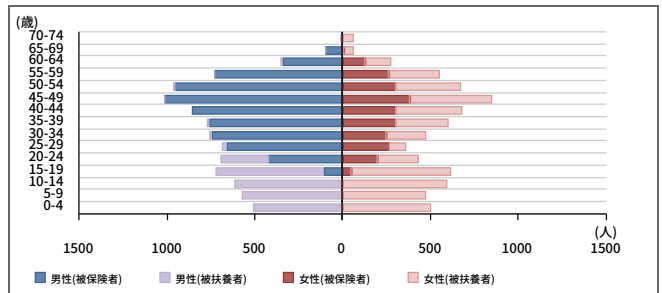


シチズン健康保険組合 サマリー (第2期 平成30年度)

STEP1 基本情報

| | |
|--------------------|--|
| 組合コード | 22413 |
| 組合名称 | シチズン健康保険組合 |
| 形態 | 単一 |
| 業種 | 機械器具製造業 |
| 被保険者数 | 9,127名 |
| * 平均年齢は特例退職被保険者を除く | 男性74% (平均年齢43歳) * 女性26% (平均年齢42歳) * |
| 特例退職被保険者数 | 0名 |
| 加入者数 | 9,127名 |
| 適用事業所数 | 26カ所 |
| 対象となる拠点数 | 26カ所 |
| 保険料率 (調整を含む) | 97% |



| | | | |
|-----------|------------|--------------|--------------|
| 特定健康診査実施率 | (全体) 84.2% | (被保険者) 98.2% | (被扶養者) 43.2% |
| 特定保健指導実施率 | (全体) 31.8% | (被保険者) 31.8% | (被扶養者) -% |

STEP2 健康課題の抽出

優先すべき課題

| | |
|---|---|
| 2016年度総医療費は2015年度比△50百万円。被保険者の男女別では、男性は+51百万円（総医療費の36.4%から39.4%へ増加）、女性は△4百万円。 年代別では30代<40代<50代と増加。 | ✓ |
| カテゴリ：医療費・患者数 | |
| 疾病別構成比では、生活習慣病>新生物>メンタルの比率となっている。生活習慣病が2015年度の12%から2016年度では15%に増加。新生物は7%から5.6%に減少したが、メンタル疾患は1.7%から1.8%に増加。生活習慣病の疾病別医療費では、高血圧症、2型糖尿病、脂質異常症が高い医療費となっており、2015、2016年度比較では増加傾向となっている。変化率では脳血管疾患が前年度比+44%と増加率大であった。 | ✓ |
| カテゴリ：医療費・患者数 | |
| がん分析では、乳がんの医療費が最も高く（その他癌を除く）、2015に対して2016年度は+21%の増加。 | |
| カテゴリ：医療費・患者数 | |
| 2次予防対象の「患者予備軍、治療放置群」が1,593人、全体（除く未把握）の31.3%を占めている。 | ✓ |
| カテゴリ：医療費・患者数 | |
| 歯科医療費は、被扶養者の若年層と被保険者の40、50代が多い。医療費内訳の中で歯科は12%を占める（通院42%、調剤21%、入院25%）。 | |
| カテゴリ：医療費・患者数 | |
| 前期高齢者の医療費は、2012年の100百万円以降減少していたが、2015年以降毎年増加傾向にあり、2017年度は2012年度に次ぐ悪化で、前期高齢者納付金が増え上り。前期高齢者の人数は200人前後で推移。 | |
| カテゴリ：医療費・患者数 | |

STEP3 保健事業の実施計画

| |
|----------------------|
| 事業全体の目的 |
| 治療放置者の人数削減及び全体医療費の削減 |
| 事業全体の目標 |
| 治療放置者数の3%削減、医療費の3%削減 |
| 職場環境の整備 |
| 1 健康管理事業推進委員会 |
| 加入者への意識づけ |
| 1 ICT活用 PEP UP |
| 個別の事業 |
| 1 特定健康診査 |
| 2 特定保健指導 |
| 3 消化器検診 |
| 4 大腸がん検診 |
| 5 前立腺検査 |
| 6 子宮がん検診 |
| 7 乳がん検診 |
| 8 人間ドック |
| 9 脳ドック |
| 10 家庭用常備薬斡旋 |
| 11 ふれあい健康事業 |
| 12 電話相談 |
| 13 事業所健康事業補助 |
| 14 育児冊子配布 |
| 15 健康優良表彰 |
| 16 歯科検診 |
| 17 前期高齢者対策プログラム |
| 18 腎通知 |
| 19 インフルエンザ予防接種 |
| 20 ストレスチェック |
| 21 禁煙対策事業 |